



ともプロ！2021

東北大学では、学生が今、やってみたいこと、挑戦したいことを応援するため、挑戦の舞台を用意しました。

ともに創り、ともに育つ、「ともに・プログラム」

それが、学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ！」です。

ともプロ！では学生たちのアイデアを発信し、クラウドファンディングで支援を呼びかけます。

学生たちの挑戦に共鳴し、ともに目指す未来を創造してみませんか？

学生たちの挑戦したいこと、解決したい課題を、ぜひ応援してください！

【クラウドファンディング期間】

2021年12月9日(木)～2022年1月31日(月)

【目標金額】各プロジェクトにつき最大50万円

※「ともプロ！」WEBサイトは以下URLまたは左記QRからご覧いただけます。

「ともプロ！」WEBサイト ▶ <https://bit.ly/3kTJdz3>



各プロジェクト詳細は裏面をご覧ください ▶

郵便振替・クレジットカード決済・銀行振込・コンビニ決済がご利用いただけます。

1,000円からご支援頂けます。 ※本プロジェクトに対するご寄附は、確定申告により税制優遇が適用されます。

【郵便振替】同封の『寄附の目的：「ともに・プログラム」への支援』と記載のある払込票をご利用ください。

裏面のプロジェクト一覧より、応援したいプロジェクト No. を払込票にご記入ください。

プロジェクト No. の記載がない場合は、プロジェクト全体への支援に活用させていただきます。

払込票の追加の郵送も可能です。郵送ご希望の場合は「ともプロ！」WEBサイトよりお申込み

ください。 ※払込手数料は本学にて負担

【クレジットカード決済】「ともプロ！」WEBサイトよりお申込みください。

取扱カード ▶ VISA / Master Card / JCB / アメリカン・エキスプレス / ダイナース / MUFG / DC / UFJ / NICOS

【銀行振込】「ともプロ！」WEBサイトよりからお申込み後、振込先の口座番号をご連絡いたします。

取扱金融機関 ▶ みずほ銀行 / 七十七銀行 / ゆうちょ銀行

【コンビニ決済】以下のコンビニエンスストアをご利用いただけます。お近くのコンビニエンスストアをお選びください。

▶ セブンイレブン / ローソン / ミニストップ / ファミリーマート / セイコーマート / デイリーヤマザキ

※コンビニ決済では5万円を超えるお支払いは出来ません。5万円以上のご寄附の場合は別の決済方法をご選択ください。



ともプロ！WEBサイト
ご支援はこちら

ご支援方法

プロジェクトに関するお問合せ・ご寄附の方法に関するお問合せなど

東北大学基金事務局（東北大学 総務企画部 基金・校友事業室 基金係内）

E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp Tel : 022-217-6290/5058

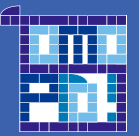
WEB : <https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/>

東北大学基金 WEB サイト ▶



お問合せ

東北大学 学生チャレンジクラウドファンディング ともプロ！プロジェクト一覧



No.01 ~ No.08 までのプロジェクトを実施中です。応援したいプロジェクトにぜひご支援ください！

No.01

標準化セルフ・コンストラクション・ ツールキットによる発災後の住宅再建

One United Recovery Organization

大規模災害時、被災者は一時的な避難だけでなく中長期的に避難生活を送るための空間が必要になります。避難所から仮設住宅等へ用途を変えて中長期的に滞在もできる避難シェルターを安価な形で作ることで、避難生活に潜む様々な脆弱性（ウイルス等による生活環境悪化、プライバシー欠如等）に対応し、中長期的な生活再建を支えます。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.02

宇宙探査技術を取り入れた AI ロボットによるデジタル農業へ

輝翠 TECH (Kisui)

中小規模の農家にとって、人手不足や高齢化により大きな農場の経営は困難です。その問題を克服するため、自動搬送等を行える宇宙探査技術を取り入れた AI ロボットを創っています。ともプロ！では、若者がコミュニティに残ることや仕事量を減らして収益性を高めることを通じて農家の方々の生活を向上させることを目指し、インターンを雇用して技術面やビジネス面等で経験を積めるようにします。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.03

カメルーン・リンベ市における廃棄物の分別と リサイクルの導入プロジェクト

Numfor Solange Ayuni

廃棄物を適切に回収し、リサイクルするためには、廃棄物を分別することが重要です。しかし、カメルーンのような開発途上国ではそのような習慣がありません。カメルーンを日本のように良くするため、地方自治体と協力して廃棄物の分別とリサイクルに関する啓発キャンペーンを行うと共に、プラスチックを舗装用タイルにリサイクルする活動も行います。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.04

震災映画プロジェクト

東北大学現代思想研究会映画プロジェクト

東日本震災やその後の東北地域の復興を新たな視点から捉える短編映画を製作します。これまでの震災や復興の語りに伴ってきた地域に根差した共同体的価値観は、これからの東北地域の復興を担っていく若い人材の一部にとっては受け入れがたいものでさえあります。外国人学生の視点やフィクションの形式を採用し、震災や復興を客観的かつ批判的に捉えて語り直す契機とすることを目指します。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.05

Innovation Festival

TIDE (Tohoku university Innovation, Design and Entrepreneurship club)

東北大学にはアントレプレナーシップを持つ学生も多いものの、自ら新しいことを始める主体的な活動はまだ多くないと感じます。このフェスティバルでは、東北大生発の変革を起こす機運を高めるために、周囲の学生の活動を共有し共に価値創造する機会にできるよう、デザイン思考を導入するブース展示、イノベーションアイデアコンテスト、「東北大の未来会議」等を行います。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.06

音楽を用いて病院にいる すべての人のこころを支えたい

きょうゆうプロジェクト

病院はストレスを抱えやすい場所です。音楽を学び現在は東北大医学部に在籍するメンバー等によるチームが病院を訪問して生演奏を行い、患者・家族・医療従事者のストレス緩和、患者と医療従事者また地域社会と病院の良好な関係構築の手助けをします。近年注目されている、全人的な医療を目指す「ヘルスヒューマニティー」の視点から、音楽と医学、社会の関わりを検討します。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.07

東北大学の学生スポーツに熱狂を 【学友会体育部 100 周年 PJT】

学生団体 Ryuz

2021 年で 100 周年を迎えた本学学友会体育部は本学の課外活動を牽引していますが、各部活動が単独で戦っており、コロナがその傾向を加速させました。より一体感を持ち互いが協力し刺激し合える環境を目指し、記念グッズと「体育部ブースター」の結成により大学スポーツを通じた一体感や熱狂を創出し、ひいては日本の大学を牽引する東北大学独自の文化の形成を目指します。



プロジェクト詳細はこちら ▶

No.08

『東北学生演劇祭』による 東北地方の学生演劇の復興

東北学生演劇祭

学生のコミュニケーション力や表現力を育んできた演劇を取り巻く環境は、コロナの影響で悪化しました。東北地方で活動する学生演劇団体が一堂に会し東北 No.1 の学生演劇を決定する演劇祭を仙台で実施し、演劇によって学生間の交流を復活させます。学生は創作活動および鑑賞・批評を通して多様な価値観を育み、共同制作や観客への発表を通して自分が社会にどう働きかけたいのかを考えるきっかけを得るでしょう。



プロジェクト詳細はこちら ▶

※プロジェクトを指定しないは『「ともに・プログラム」全体への支援』となります。ご支援よろしくお願いたします。

お問合せ：東北大学基金事務局 E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp TEL : 022-217-6290/5058